

伊丹市営繕工事電子納品要領

・電子納品（図面スキャナ）の対象

原則として全ての完成図内竣工図面(原図)を対象とするが、これにより難しいものについては監督職員と協議する。

・納品の方法

1. 提出媒体

提出はCD-Rとする。また、成果品の電子納品時における使用媒体に用いるラベル及びフォーマット等については、以下の各項目に従うものとする。

(1) CD-Rに貼るラベルについて

媒体のラベルには以下の情報を明記する。

工事名称

作成年月

データ保管場所

発注者名

請負者名

ウイルスチェックに関する情報

(使用した「ウイルス対策ソフト名」「ウイルス定義年月日」「チェック年月日」を明記。詳細は2-(2)による。)

フォーマット形式

CD-R作成業者名

CD-Rのプラスチックケースには「工事名称」「作成年月」「**データ保管場所番号**」を明記する。



(2) 電子媒体のフォーマットについて

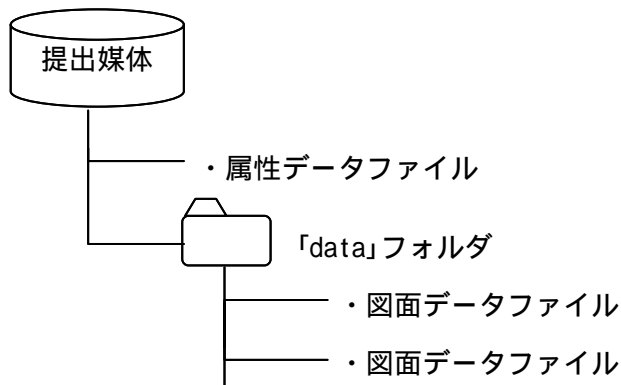
・CD-Rは原則としてISO9660フォーマット(レベル3)とする。ただし、これにより難しい場合は、監督職員と協議する。

2. 提出形式等

(1) 完成図

1) フォルダ構成について

提出媒体に保存する際には、下図のようなフォルダ構成とする。



2) ファイル形式

図面データファイル；T I F Fファイル

- ・ファイル形式：T I F F (G 4)
- ・解像度 : 2 0 0 d p i
- ・原稿向き : 長辺方向、正立状態
- ・その他 : シングルページ/ファイル

属性データファイル；C S Vファイル

C S Vファイルとは、値（数値やテキスト等）をコンマ（，）で区切って書いたテキストファイル。

- ・表計算ソフト（Excel等）での作成
項目を並べて各項目ごとに値を入力します。「ファイルの名前を付けて保存」 ファイルの種類で「CSV」を選択して保存します。

3) 属性データファイルについて

- ・下記の項目について入力する。

| 区分 | | 属性項目名 | サイズ | 内 容(参考) |
|-----------------|----|-----------|-------|-------------------------------|
| 必須情報 (システム用) | | ファイル名 | 半角 13 | " 1048-0460.tif " (施設番号-一貫番号) |
| | | 頁数 | 半角 1 | " 1 " (シングルTIFF) |
| 基本情報 (図面情報) | 1 | 施設番号 | 半角 4 | " 1048 " |
| | 2 | 施設名 | 全角 | " 笹原中学校 " |
| | 3 | 施設区分 | 半角 2 | " 10 " |
| | 4 | 工事名 | 全角 | " 伊丹市立笹原中学校E V設置工事 " |
| | 5 | 工事種別 1 | 全角 | " 新築 "、" 改修 "、" 増築 " |
| | 6 | 工事種別 2 | 全角 | " 建築 "、" 電気 "、" 機械 " |
| | 7 | 図面名称 | 全角 | " 建築工事特記仕様書 1 " |
| | 8 | 図面番号 | 半角 | " A-02 " (建築：A、電気：E、機械：M 等) |
| | 9 | 原課名 | 全角 | " 教育委員会施設 " |
| | 10 | 竣工年月日 | 半角 10 | " 2004/xx/xx " (yyyy/mm/dd) |
| 管理情報 (データ情報) | 11 | 作成年月日 | 半角 10 | " yyyy/mm/dd " (電子化作成日) |
| | 12 | データ保管場所番号 | 半角 7 | " 1048-nn " (施設番号-一貫番号) |
| | 13 | 資料区分 | 全角 | " 図面 (A n) " (括弧内は図面サイズ) |
| 予備項目 | 14 | 備考 | 全角 | - |

ファイル名及びデータ保管場所番号にある一貫番号は、発注担当者に確認のこと。
属性データ入力の際は別シートの属性入力例 を参照のこと。また提出する際は
そのシートのみを " 名前を付けて保存 " c s v形式にてCD-Rに保存すること。

4) ファイル名の付け方

管理データのファイル名は「データ保管場所番号.csv」とする。

図面データのファイル名については下記に従う。

- ・ファイル名は半角英数字で9文字(拡張子除く)とする。
- ・ファイル名の各部分の意味については下記のとおり。

1048-0460.tif

(a) (b) (c)

(a)・・・施設番号(4桁)

(b)・・・ハイフン(1桁)

(c)・・・一貫番号(4桁)

(2) ウィルスチェック

提出するデータについては、ウィルスチェックを実施すること。ウィルスチェックは成果物の納品前に実施する。実施内容については以下に従うものとする。

請負者は、納品すべき最終成果品が完成した時点で、ウィルスチェックを行う。

ウィルス対策ソフトは特に指定しないが、できるだけシェアの高いものを利用する。

最新のウィルスも検出できるように、ウィルス対策ソフトは常に最新のデータに更新(アップデート)したものを利用する。

納品する媒体のラベルに、ウィルスチェックに関する情報として以下を記載する。

- ・使用したウィルス対策ソフト名
- ・ウィルス(パターンファイル)定義年月日
- ・チェック年月日

添付資料・・・「属性情報入力例」及び「属性情報入力例」